

## 資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [労働組合](#) | [教育活動](#) | [賃金という概念の成立](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[組織活動](#)[組織運営と法律](#)[労働安全衛生](#)[経営対策活動](#)[教育・宣伝活動](#)[労働時間をめぐる諸問題](#)[教育活動](#)[選挙活動](#)[組合組織（公務員）](#)[教育カリキュラム](#)

### 賃金という概念の成立

賃金という概念の成立は、生産手段を持つ人と持たない人とに分離された近代工業の成立とともに起こります。イギリスに起こった産業革命によって近代工業が拡大されていきますが、使用者が労働者を自由に雇い入れて労働させ、労働者も封建的拘束から脱して、自分で自分の労働力を処分するようになります。自分の労働力を自らの意思によって処分できたとしても、使用者の力は圧倒的に強大でした。労働者が不満を口にしても、「明日から来なくてもよい」と使用者が言えば、労働者は黙ってこむごむと生きてきました。

労働者が使用者に対抗できるようになったのは、「解雇」と言われた場合に「工場労働者全員が仕事をボイコットする」と意思表示できるようになったからです。

このように賃金や賃金労働に対する概念の成立には、歴史的にみるとイギリスにおける労働組合の存在が欠かせません。

(参考：連合総研「日本の賃金」)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

### Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>> 一覧へ戻る](#)
[▶ キーワード検索はこちら](#)

